

『教科とは?なぜ学ぶ??』について考える

本校では年間3回、茨城大学教育学部の新井英靖教授を招聘し、研究授業に対する助言や授業づくりに関する講話をいただきました。研修会では、深い学びに向かう授業づくりのためには、各教科の「見方・考え方」や教科そのものへの根本的理解が必要であるという指摘がありました。

そこで、全学部の教員が縦割り構成する教科部会の時間を活用し、各教科で身に付けたい資質・能力や見方・考え方、本質について検討を行いました。学習指導要領には明示されていない「教科が存在する意義」や「教科の本質」について見極めるために、以下の①～③を各教科でまとめました。



- ① 子どもたちに感じてもらいたい〇〇科のおもしろさって?
- ② 〇〇科ならではの学びとは?
- ③ 〇〇科を学ぶ意味は?

生活科

- ① 生活体験が学びとなる
- ② 他の教科への素地づくり
- ③ 社会で生活するための素地づくり

国語科

- ① 『言葉』のおもしろさ
- ② 伝わったという実感
- ③ コミュニケーションのツール



算数・数学科

- ① 答えがあり、一つである
- ② 考える力、プロセス(分析力)
- ③ 効率UPや解くことの楽しさ



体育・保健体育科

- ① 勝ち負けの体験
- ② ルール、応援、観戦
- ③ 体力向上やストレス解消

図画工作・美術科

- ① 材料、素材とのふれあい
- ② 色や形を作り出す
- ③ 自己実現、社会や他者とのつながり

音楽科

- ① 自由な自己表現
- ② イメージを膨らませる
- ③ 合わせる喜び、心が豊かに



社会科

- ① 身近な生活に題材がある
- ② 自分の考えを反映できる
- ③ 人生をよりよくなる



理科

- ① 観察及び実験、五感を使う
- ② 身近な現象の理由を知ることができる
- ③ 生命を大切にすることを育む

職業科

- ① 社会とつながり、役立てる
- ② 自己分析や他己分析
- ③ 卒業後の居場所づくり

家庭科

- ① ものを作り出す
- ② 生活に返していきける
- ③ 技能の習得と将来の力



外国語科

- ① 異文化への気づき
- ② 海外の人とのふれあい
- ③ 身近ではない世界を感じる



情報科

- ① 「もの」の仕組みを知る
- ② 最新の情報テクノロジー
- ③ 進化する情報社会への適応

つけたい力を育む各教科の授業づくり ー深く学ぶ姿を目指してー

授業づくりを通して
子どもの話をしよう!

授業づくりパッケージを
活用した授業づくり
肢体不自由部門小学部
図画工作科の実践

チョークを自ら手に取り、
直接綿にチョークを押し付ける
『くっつけてみよう。
…あれ?色がつかないな』

綿を見ずに手を動かしていたが
チョークの色がついて染まっていくに
つれて、綿を見て手を動かすように…
『あれ?色が変わったよ』

【題材】
ふんわり綿で楽しもう!
チョークを塗った画用紙に綿を擦り付けて
色をつけたり、成形したりする

【身に付けたい資質・能力】
色や形に注目し、自ら作り出す
素材に触れ合うことで感じた気持ちを表す

